

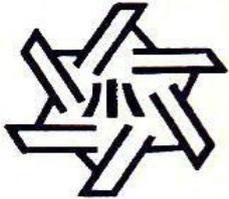
# 二小通信

令和 7年 4月30日  
東久留米市立第二小学校  
校長 井上 淳

5月号

TEL042-471-0134 Fax042-472-7981

\*学校ホームページ <http://www.higashikurume-school101.jp/~dai2-e/>



## 『教育目標』

- ◇ 考える子
- ◇ 仲よくする子
- ◇ じょうぶな子

## 体験を通して学ぶ子供たち

校長 井上 淳

授業中、廊下から子供たちの声が聞こえます。どうやら2年生のようです。よく聞いてみると、学校の施設を説明したり、クイズを出したりしている声です。これは毎年4月下旬に行われる教育活動の一つである「学校探検」です。お兄さんお姉さんになった2年生が1年生に案内することを通して、2年生としての役割を体験します。今、聞こえてくる声はそのリハーサルではありますが、役割に本気で取り組んでいる2年生の意気込みが伝わってきました。実際に1年生に案内することをイメージしながら、分かりやすい言葉ではっきりと丁寧に話している姿は、相手をきちんと意識した案内の練習をしているようでした。



子供にとって、実体験を通して感じたことや考えたこと、判断したこと、行動したことは、強く心に残ることでしょう。そして、その積み重ねは、心への残り方をより強固なものにしていくことでしょう。さらには、自分の生き方に根付いていくことでしょう。

先週の5年生の遠足は、残念ながら延期となりました。昨年度の遠足を振り返ると、4年生ながら、公共の場での行動のあり方が分かっているようでした。例えば、歩道の半分を空けるように並んで歩く。駅の階段では端を歩く。電車に乗る際、降車する方を優先し乗車する。山道で行き交う方に挨拶をする。昼食時、ごみを残さないようにする。・・・など、善い行いを当たり前のようにしていました。まさに規範意識が高く、思いやりの心があり、社会や集団との関わりを深めている証となっていました。

子供たちは、学校や家庭、地域で学びます。そして、それらを学校や家庭、地域の中で活用します。その活用したことを次の学びへと活かしていきます。遠足での子供たちの行動は、素晴らしい様子そのものでした。

子供たちは、学校行事を通して、社会性など様々ことを学びます。今年度も多様な行事が目白押しです。子供たちの成長を見守りながら指導してまいります。